

令和6年度子ども読書活動に関するアンケート調査結果

1 調査の目的

子どもをとりまく読書環境の現状や「坂出市子ども読書活動推進計画」における数値目標の達成状況を把握し、今後の方策に生かすために実態調査を行った。

2 調査方法

(1) 調査対象 坂出市内の保育園児から中学生までを調査対象とする。

保育所(園)・こども園・幼稚園 2歳児クラス・4歳児クラス

小学校 2年生・5年生

中学校 2年生

(2) 調査人数

	対象人数	集計人数	回答率
乳幼児(2歳児)	244	107	44%
幼児(4歳児)	334	141	42%
小学生(2年生)	404	171	42%
小学生(5年生)	423	389	92%
中学生(2年生)	471	406	86%
計	1,876	1,214	65%

(3) 調査時期 令和6年6月の1ヶ月間を調査(調査は7月に実施)

(4) 実施方法

①乳幼児、幼児及び小学生(2年生)は、保育所等を通じて調査依頼を家庭に配布し、保護者がインターネット上の回答フォームにアクセスし、回答した。

②小学生(5年生)及び中学生は、小学校等にて調査依頼を配布し、生徒本人がインターネット上の回答フォームにアクセスし、回答した。

3 調査項目

(1) 子どもの現状

○本を読むことが好きな子どもの割合 1

(2) 読書冊数

①1ヶ月間に読み聞かせや自分で読んだ本の冊数 2

②電子書籍の利用率と読んだ本に占める割合 3

③1ヶ月間に全く本を読まなかった子どもの割合 4

④本を全く読まなかった理由 5

(3) 家庭での読書の状況	
○家庭での読書活動	6
(4) 家庭での読み聞かせの現状	
①家庭での読み聞かせ頻度	7
②誰が読み聞かせするのか	8
(5) 学校の図書室の利用状況等	
①学校の図書室を利用する頻度	9
②図書室へ行く時間帯	10
(6) 調べ学習の状況	
①分からないことの調べ方	11
②調べ学習で何を使用したか	11
③調べ学習での理解度	12
(7) 坂出市立大橋記念図書館の利用状況	
①坂出市立大橋記念図書館を利用する頻度	13
②坂出市立大橋記念図書館の利用目的	14
③坂出市立大橋記念図書館を全く利用しなかった理由	15
④図書館に対する要望	16

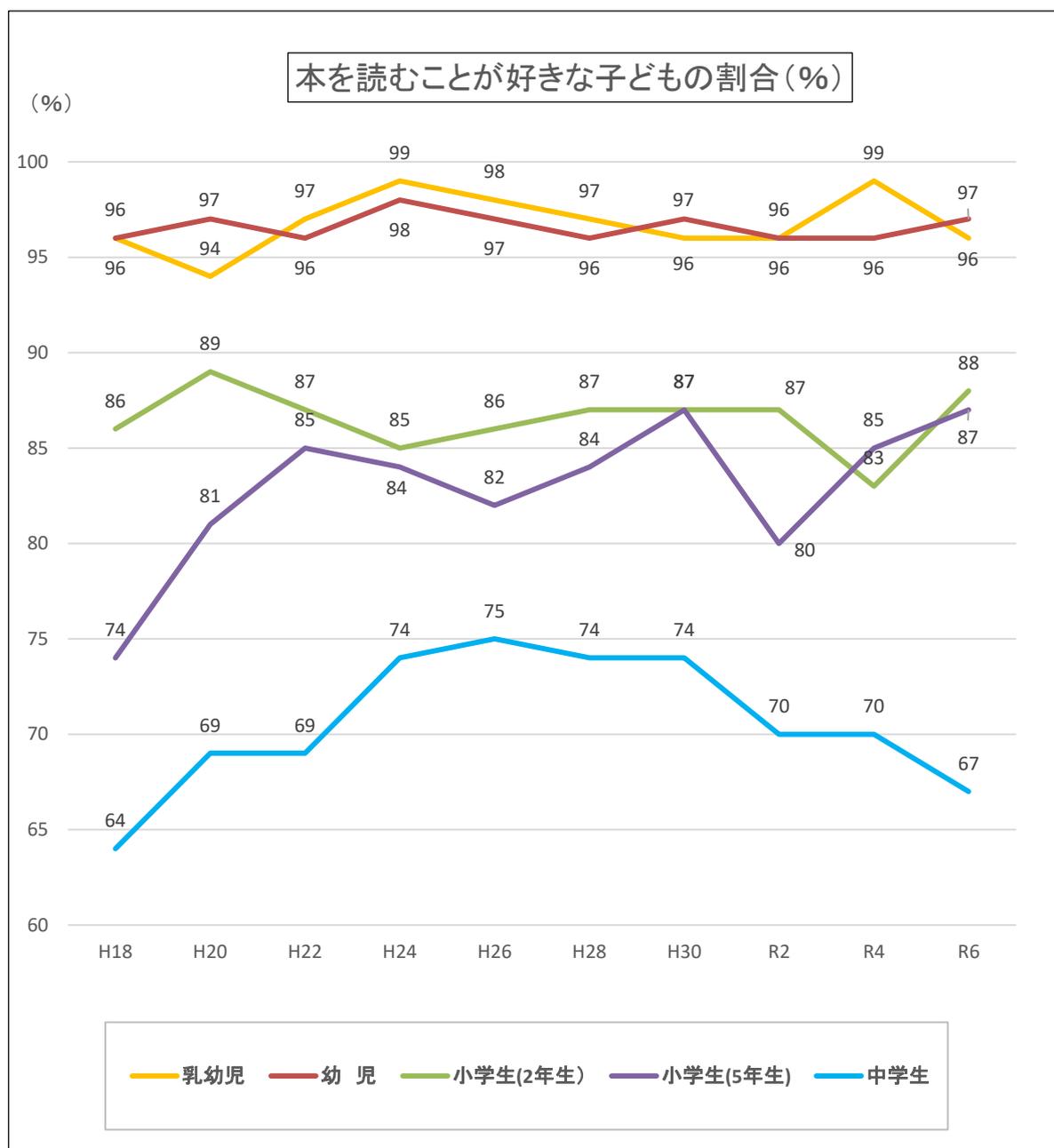
(1) 子どもの現状

○ 本を読むことが好きな子どもの割合

乳幼児では前回比4ポイント減の96%、幼児は1ポイント増の97%で、年度による増減はあるが非常に高い割合を示している。小学生(2年生)は5ポイント増の88%、小学生(5年生)は2ポイント増の87%。中学生は前回3ポイント減の67%で、平成26年度以降減少傾向にある。

(問) 本を読むことや、絵本等の読み聞かせが好きですか。

	乳幼児	幼児	小学生(2年生)	小学生(5年生)	中学生
好き	75%	67%	49%	46%	30%
どちらかといえば好き	21%	30%	39%	41%	37%
計	96%	97%	88%	87%	67%

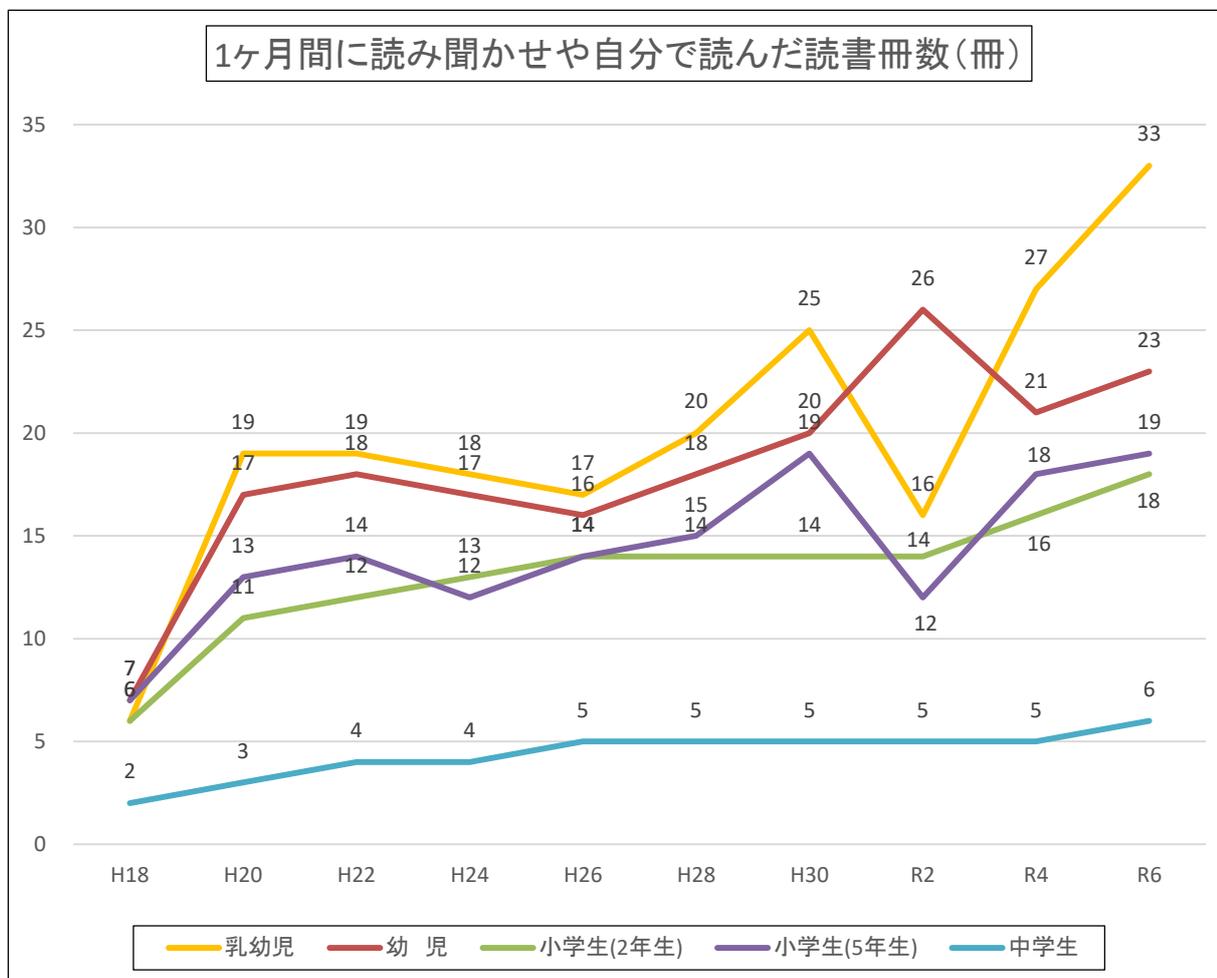


(2) 読書冊数

① 1ヶ月間に読み聞かせや自分で読んだ本の冊数

今年度の6月1ヶ月間に読んだ本の平均冊数は、乳幼児が前回から6冊増の33冊、幼児は2冊増の23冊、小学生(2年生)は2冊増の18冊、小学生(5年生)は1冊増の19冊、中学生は1冊増の6冊となった。年度によって減少することもあるが、おおむね横ばいか増加傾向にある。

(問) 令和6年6月の1ヶ月間に読み聞かせを聞いたり、自分で読んだ本は何冊ですか。



② 電子書籍の利用率と読んだ本に占める割合

電子書籍で1冊以上本を読んだと回答した人は、乳幼児は前回比3ポイント増の5%、幼児は3ポイント増の4%、小学生(2年生)は1ポイント増の7%、小学生(5年生)は29ポイント増の32%、中学生は1ポイント増の25%となった。また、電子書籍を利用している家庭で、読んだ本のうち電子書籍が占める割合は、乳幼児は前回比20ポイント減の39%、幼児は19ポイント減の20%、小学生(2年生)は14ポイント減の24%、小学生(5年生)は20ポイント減の30%、中学生は11ポイント増の71%となった。小学生(5年生)と中学生でスマートフォンに関する調査を行ったが、年齢と共に所持率が高くなり、使用時間が長くなっていた。

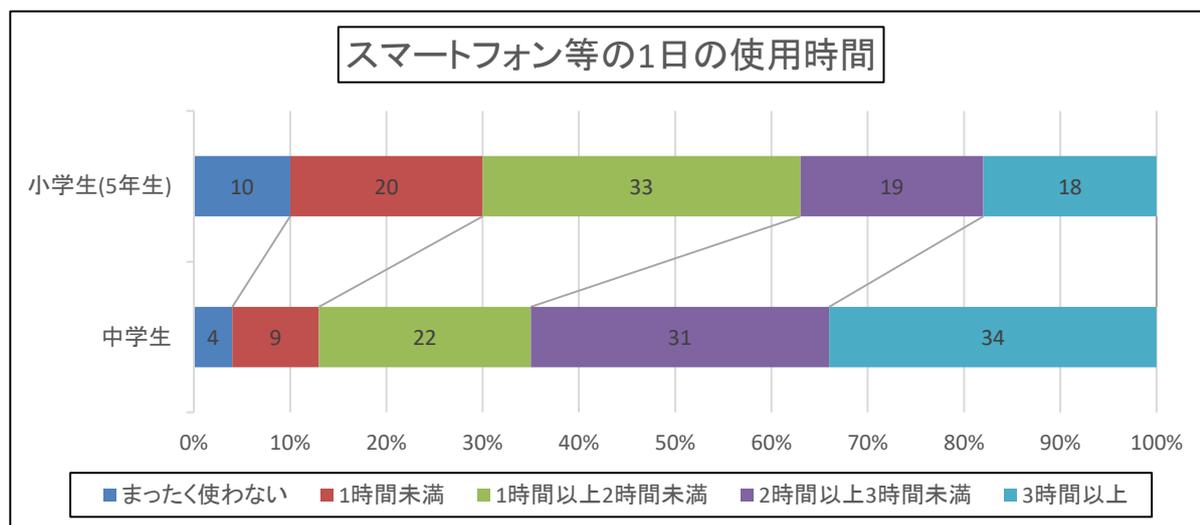
(問) 読み聞かせを聞いたり、自分で読んだ本のうち電子書籍は何冊ですか。

	乳幼児	幼児	小学生(2年生)	小学生(5年生)	中学生
1冊以上読んでいる人	5%	4%	7%	32%	25%
読んだ本に占める割合	39%	20%	24%	30%	71%

(問) 自分用のスマートフォンを持っていますか。

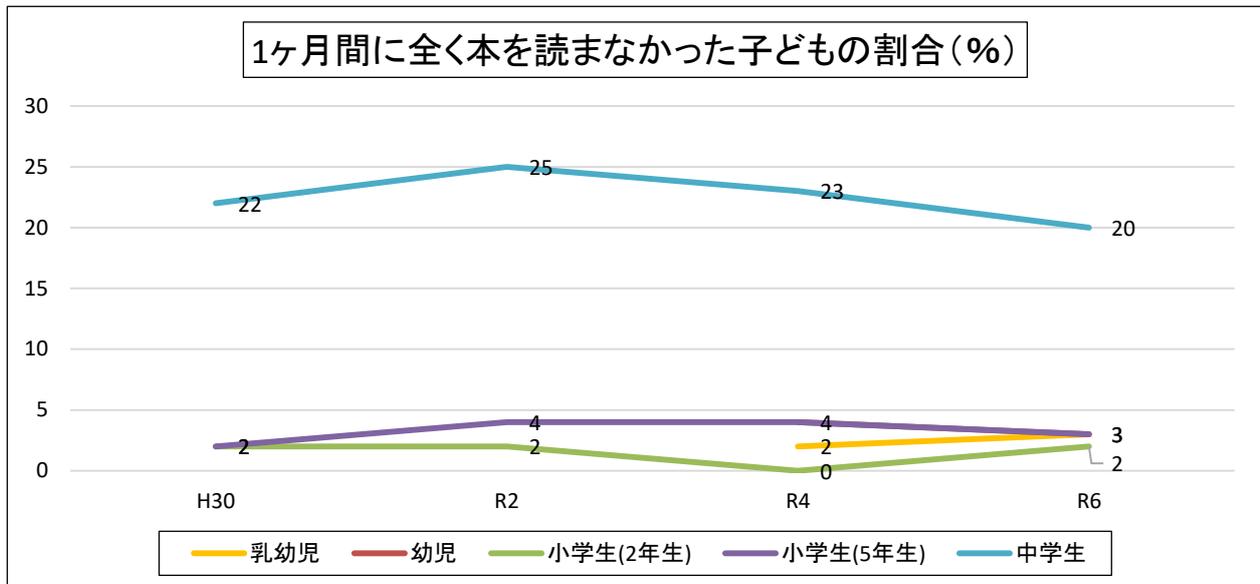
	小学生(5年生)	中学生
はい	45%	86%
いいえ	55%	14%

(問) スマートフォンやタブレットを1日に何時間くらい使いますか。



③ 1ヶ月間に全く本を読まなかった子どもの割合

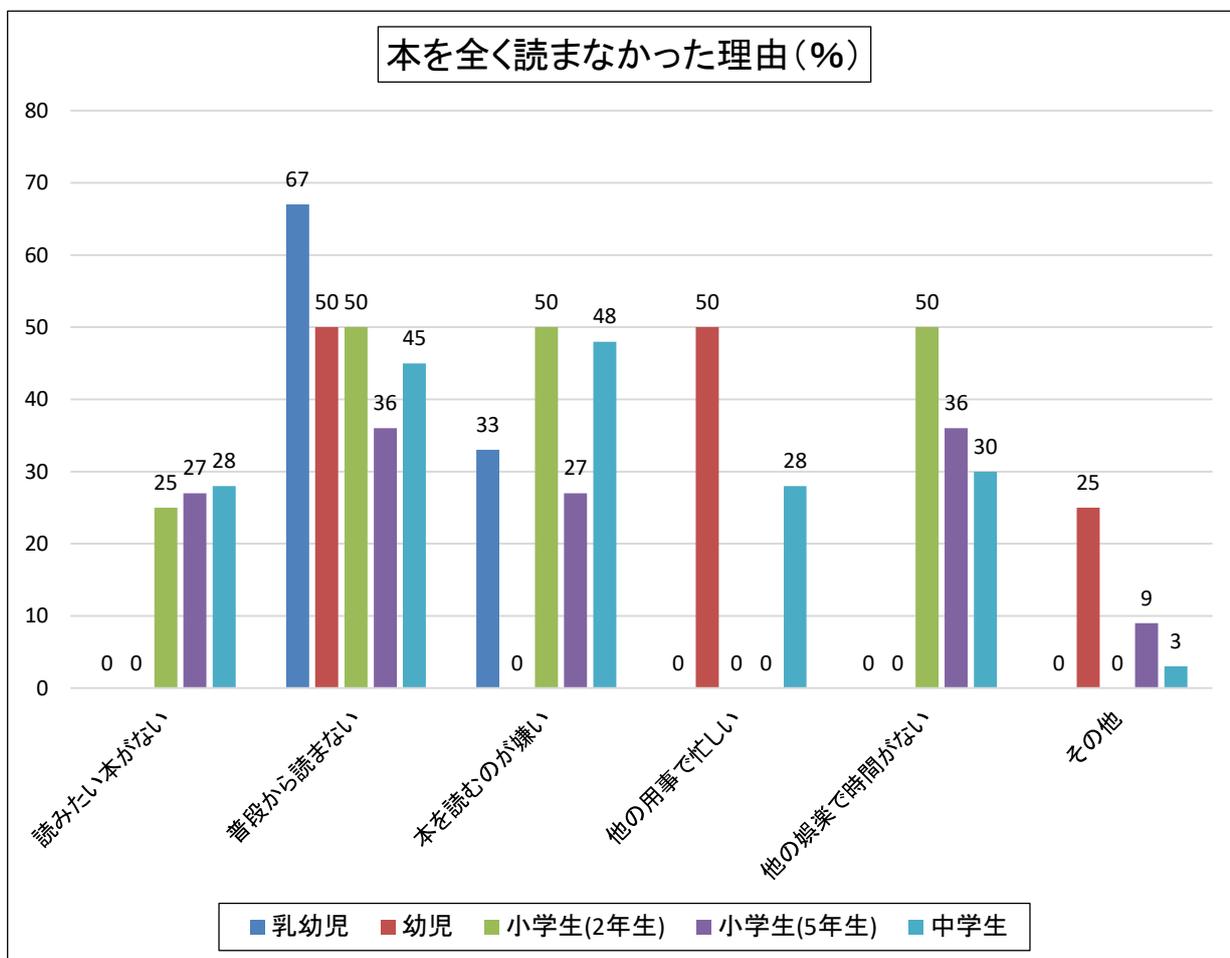
今年度の「6月1ヶ月間に全く本を読まなかった子どもの割合」は、乳幼児は前回比1ポイント増で3%、幼児は1ポイント減で3%、小学生(2年生)は2ポイント増で2%、小学生(5年生)は1ポイント減で3%となった。中学生は3ポイント減で20%となり、計画における数値目標20%を達成した。



④ 本を全く読まなかった理由(複数選択)

本を全く読まなかった理由については、「普段から読まない」が乳幼児で67%、幼児と小学生(2年生)で50%、小学生(5年生)で36%と最も多く、中学2年生では「本を読むのが嫌い」の48%の次に多い45%となった。また、「他の娯楽で時間がない」が小学生(2年生)で50%、小学生(5年生)で36%、中学2年生で30%となり、読書週間のない子どもは他の娯楽で時間を消費していると思われる。

(問) 本を全く読まなかったのはどうしてですか。(複数選択)

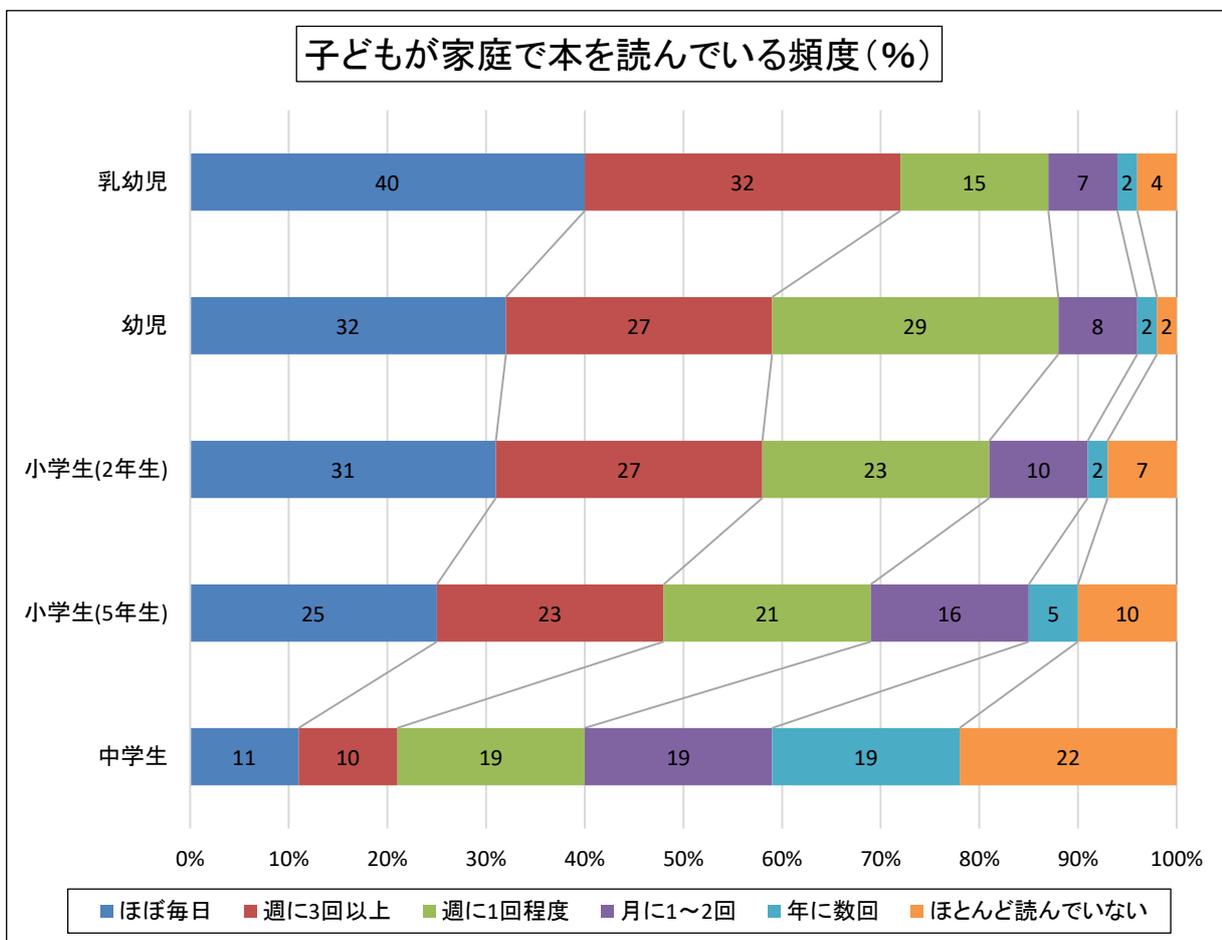


(3) 家庭での読書の状況

○ 家庭での読書活動

家庭で「ほぼ毎日」及び「週に3回以上」本を読んでいる子どもの割合は年齢があがるごとに減少しており、逆に「月に1～2回」「年に数回」及び「ほとんど読んでいない」子どもは増加している。特に小学生(5年生)から中学生での変化が大きく、小学生(5年生)では「ほぼ毎日」が25%と最も多かったが、中学生では「ほとんど読んでいない」が22%で最多となった。

(問) 家でどのくらいの頻度で本を読んでいますか。

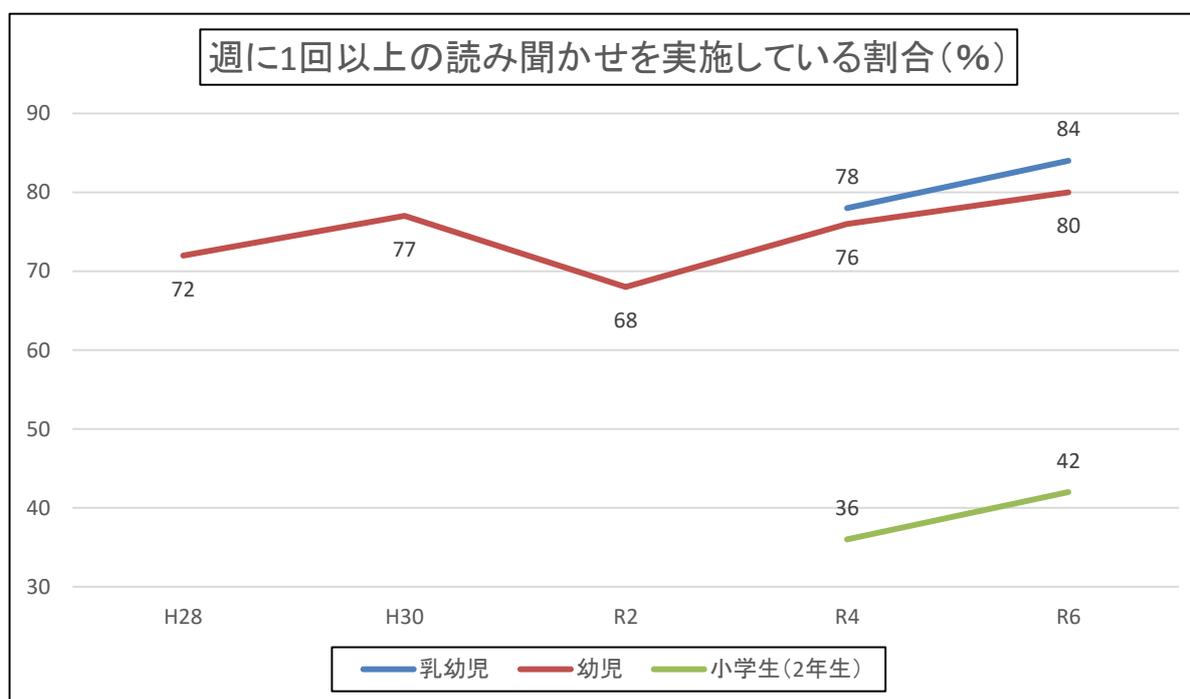
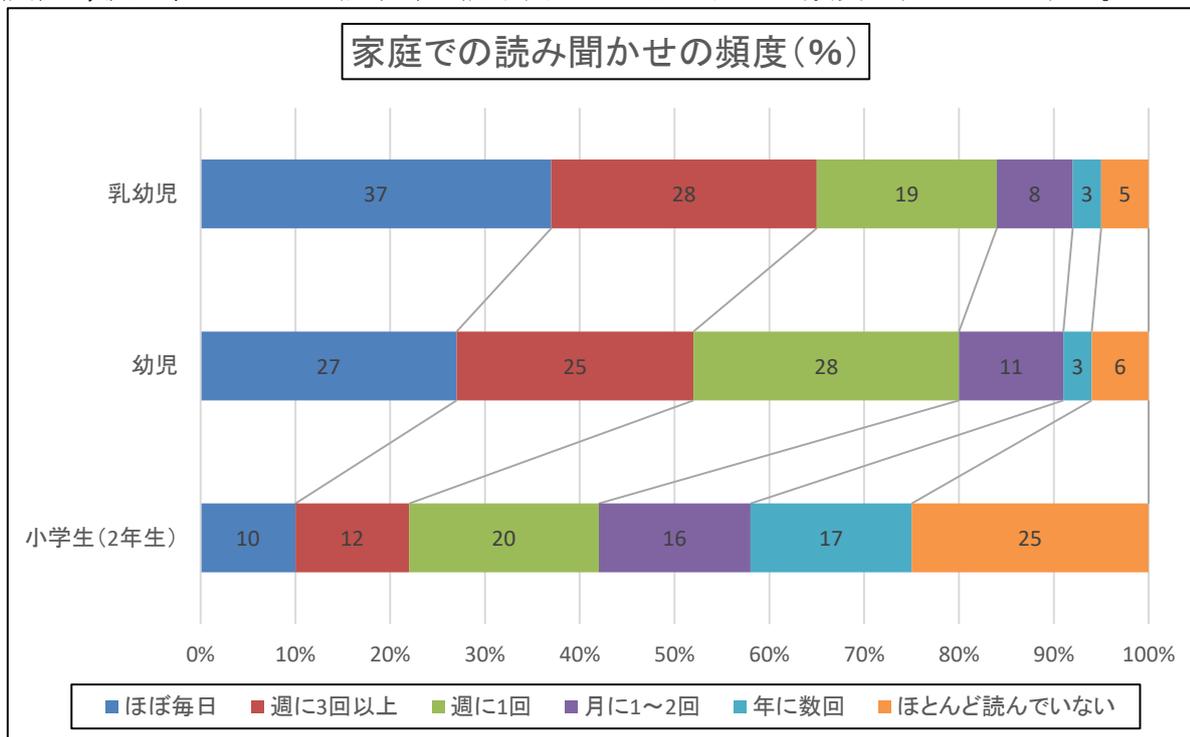


(4) 家庭での読み聞かせの現状<調査対象:乳幼児・幼児・小学生(2年生)>

① 家庭での読み聞かせ頻度

家庭での読み聞かせの頻度は、子どもの年齢と共に減少しており、令和6年度に「週に1回以上」読み聞かせを行っているのは、乳幼児で84%、幼児で80%、小学生(2年生)で42%であった。経年変化を見ると、全年齢層で前回(令和4年度)よりも増加しており、幼児では計画における数値目標80%を達成した。

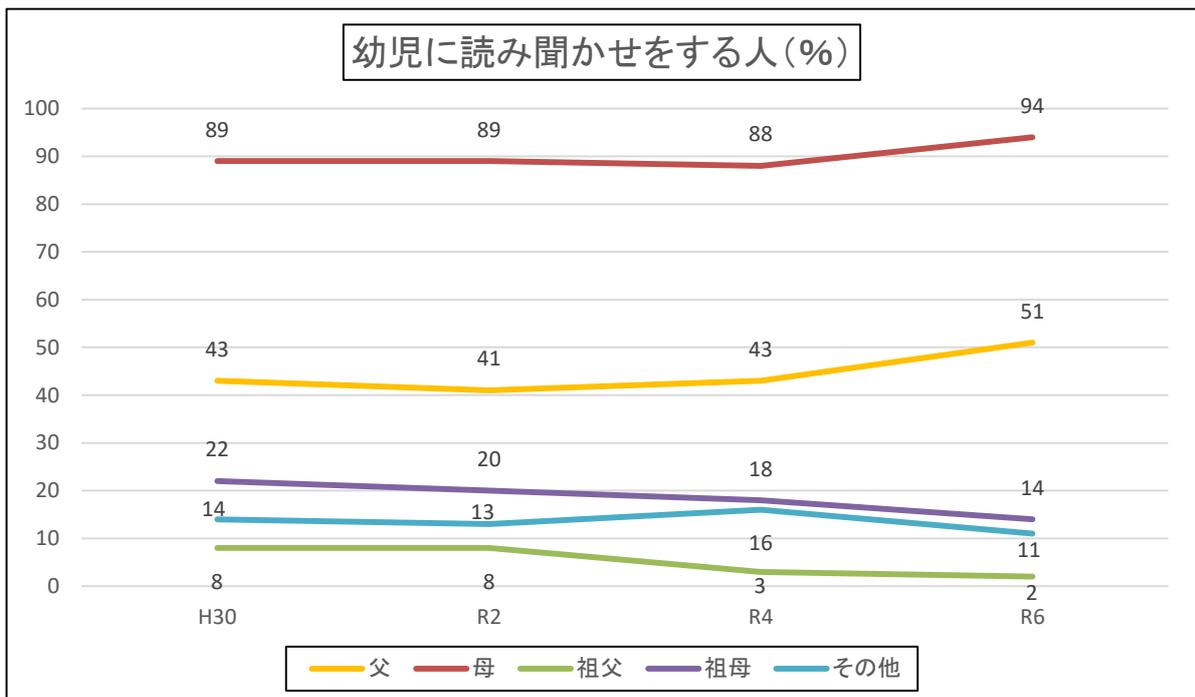
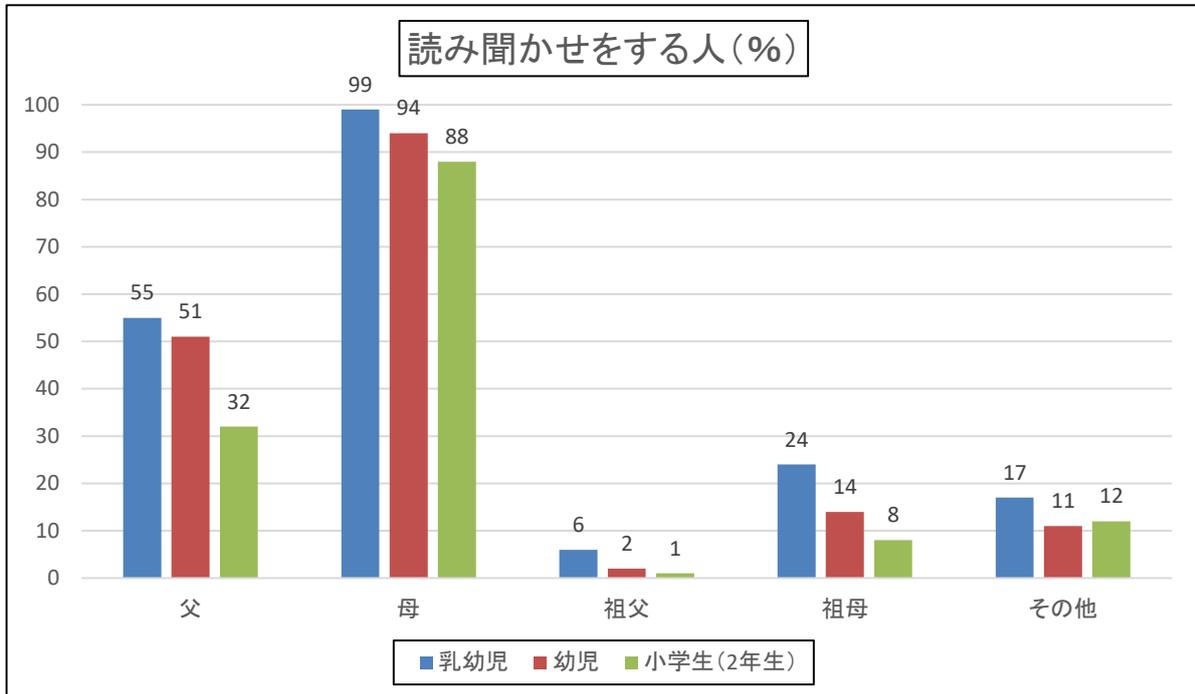
(問) 家庭で、お子さんに絵本等の読み聞かせをどのくらいの頻度で行っていますか。



② 誰が読み聞かせするのか

全ての年齢で母親の割合が圧倒的に高く、乳幼児では99%、幼児では94%、小学生(2年生)では88%となっており、次に父親の乳幼児55%、幼児51%、小学生(2年生)32%が続く結果となった。経年変化では、母と父共に、年度によって減少することもあるが、おおむね横ばいか増加傾向にある。

(問) 誰が読み聞かせしていますか。(複数選択)



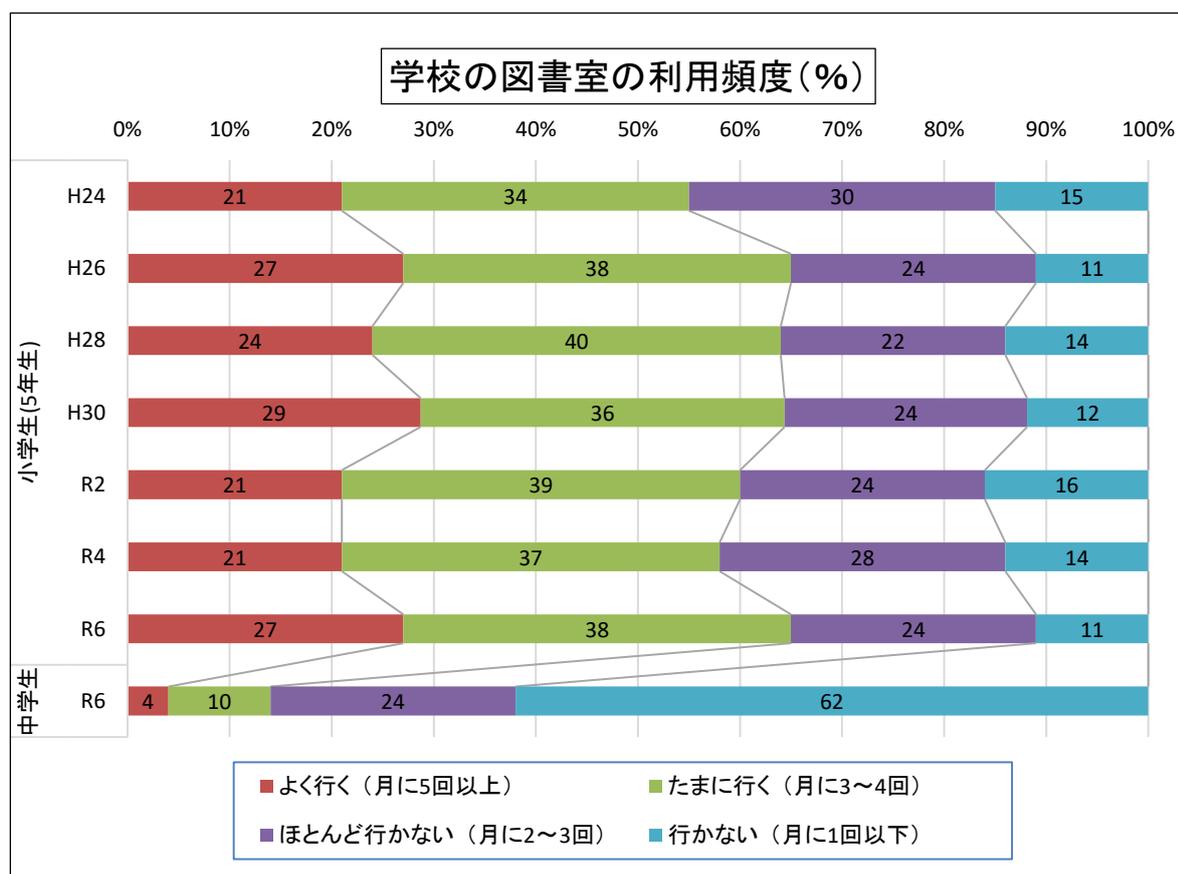
(5) 学校の図書室の利用状況等〈調査対象:小学生(5年生)・中学生〉

① 学校の図書室を利用する頻度

小学生(5年生)の学校図書室の利用頻度については、「よく行く(月に5回以上)」が前回比6ポイント増の27%、「たまに行く(月の3~4回)」が1ポイント増の38%、「ほとんど行かない(月に2~3回)」が4ポイント減の24%、「行かない(月に1回以下)」が3ポイント減の11%となっており、利用頻度が増加している様子が分かった。

今回、中学生も調査したが、「行かない(月に1回以下)」が62%を占め、中学生になると学校図書室の利用頻度が急激に減少している様子が分かった。

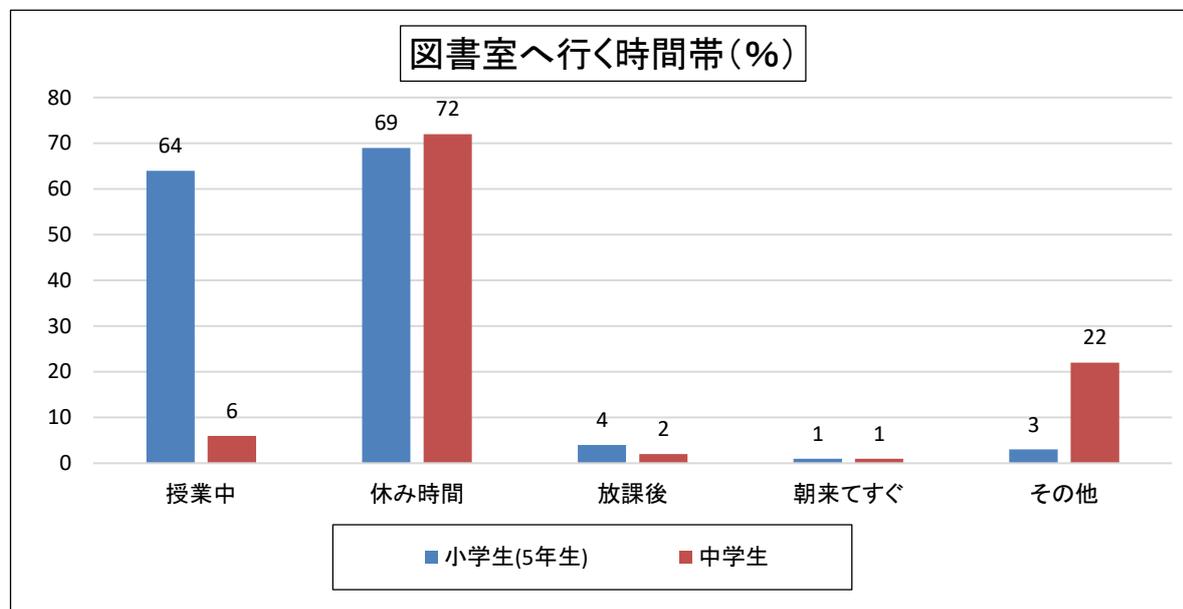
(問) 学校の図書室に行きますか。



② 図書室へ行く時間帯

図書室を利用する時間帯は、「休み時間」との回答が小学生(5年生)69%、中学生72%と、最も多かった。小学生(5年生)は授業中も64%と多くなった。中学生は「その他」が22%となったが、記載欄への回答の90%が「利用しない」旨の記載であり、全体に対しても20%を占める結果となった。

(問) いつ、学校の図書室に行きますか。(複数選択)

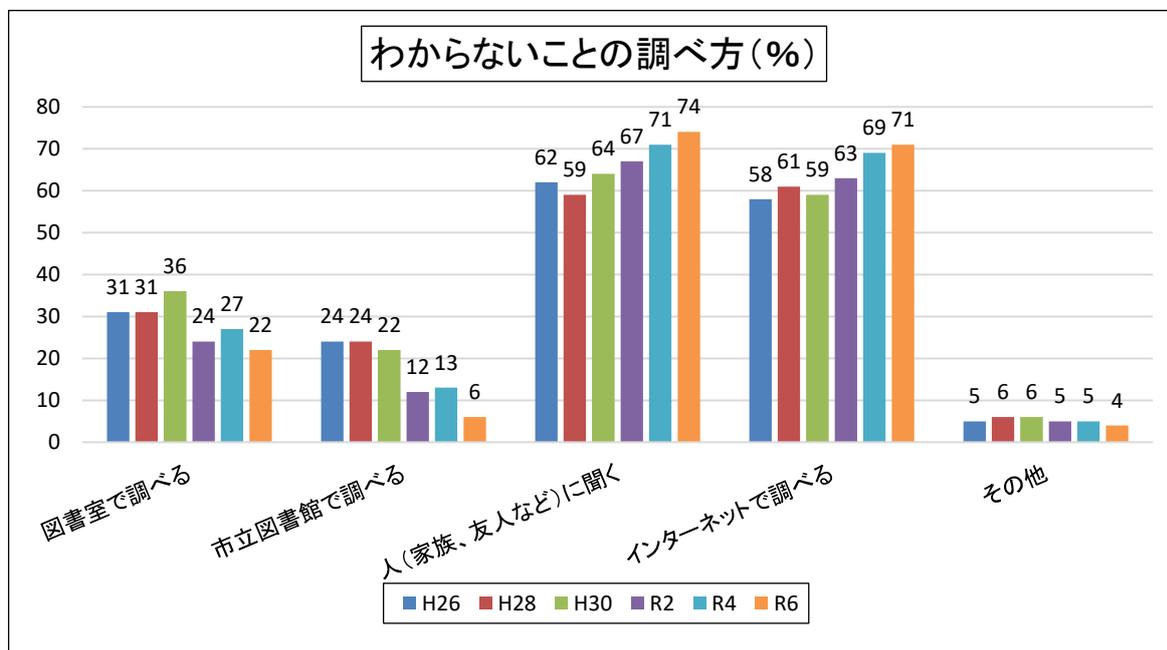


(6) 調べ学習の状況<調査対象:小学生(5年生)>

① 分からないことの調べ方

分からないことの調べ方について、「図書室で調べる」は前回比5ポイント減の22%、「市立図書館で調べる」は7ポイント減の6%で、減少傾向にある。一方、「人に聞く(家族、友人など)」は3ポイント増の74%、「インターネットで調べる」は2ポイント増の71%で、増加傾向にある。

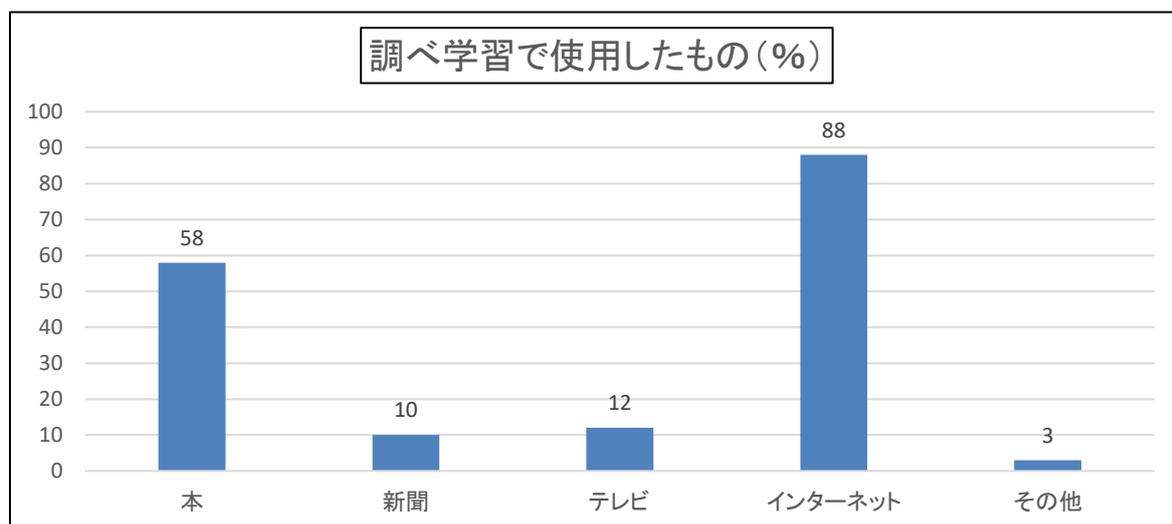
(問) わからないことがあったら、どうやって調べますか。(複数選択)



② 調べ学習で何を使用したか

調べ学習には、「インターネット」が88%と最も多く使用されていた。次いで、「本」58%、「テレビ」12%、「新聞」10%となった。

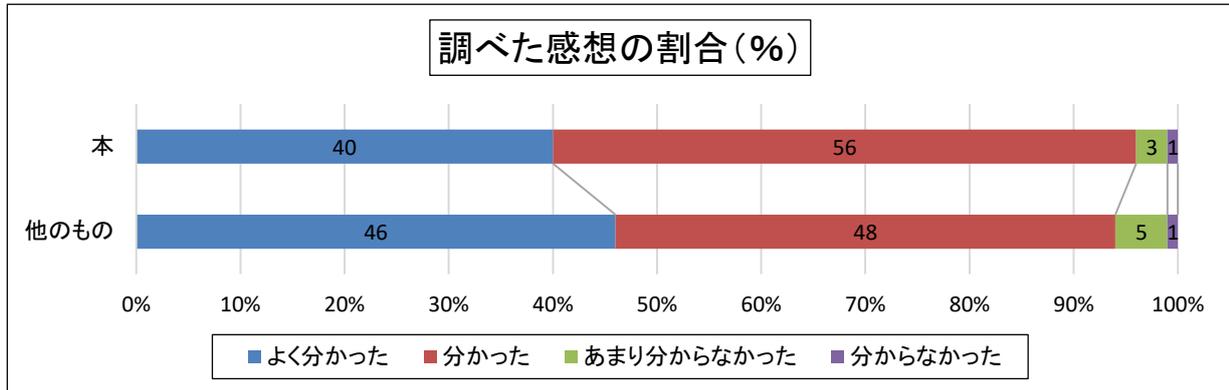
(問) 調べ学習の時に、何を使って調べますか。(複数選択)



③ 調べ学習での理解度

本や他のものを使って調べた感想は、「よく分かった」では本以外が6ポイント高い46%であったが、「分かった」では本が8ポイント高い56%であった。

(問) 本や他のものを使って調べた感想を教えてください。

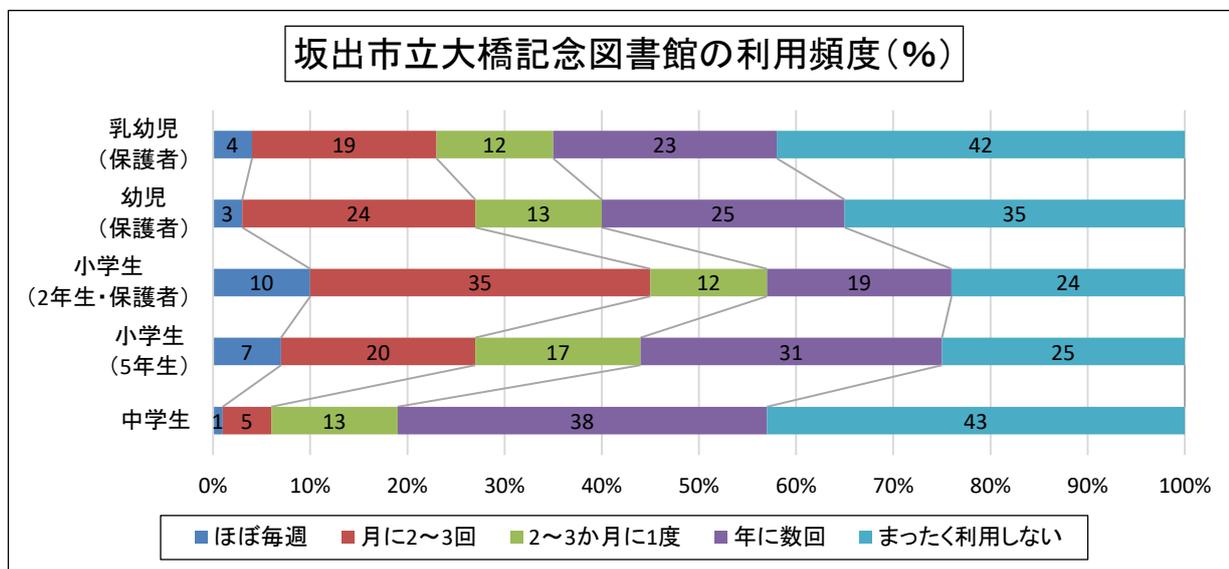


(7) 坂出市立大橋記念図書館の利用状況

① 坂出市立大橋記念図書館を利用する頻度

利用頻度について、「月に2～3回」以上の割合は、乳幼児(保護者)で23%、幼児(保護者)で27%、小学生(2年生・保護者)で45%、小学生(5年生)で27%、中学生で6%となった。本の貸出期間が15日であることから、これらの利用者は大橋記念図書館を継続的に利用していると思われる。

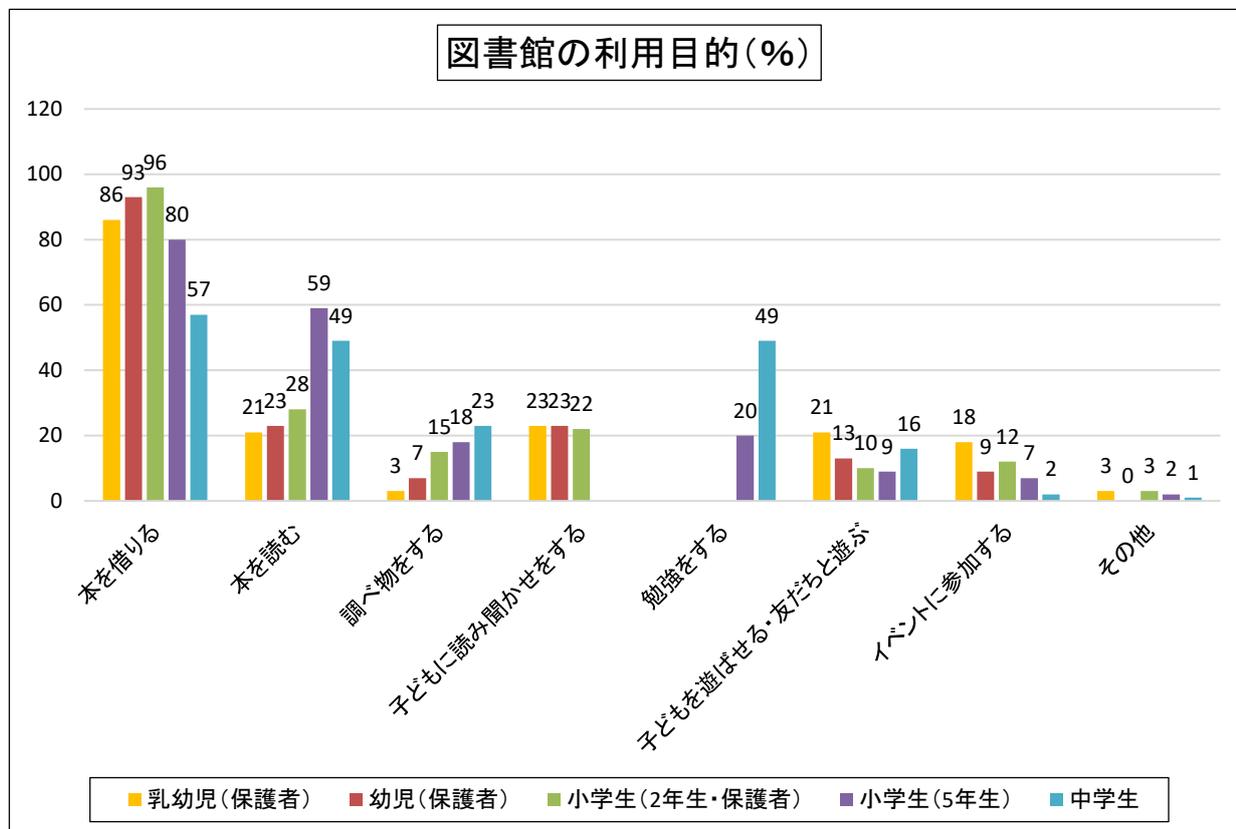
(問) 坂出市立大橋記念図書館を年間どのくらい利用しますか。



② 坂出市立大橋記念図書館の利用目的

全ての年齢で「本を借りる」の割合が最も高く、乳幼児(保護者)では86%、幼児(保護者)では93%、小学生(2年生・保護者)では96%、小学生(5年生)では80%、中学生では57%となった。「本を読む」も小学生(5年生)で59%、中学生で49%と高い割合となった。中学生の「勉強をする」も同じく49%となった。

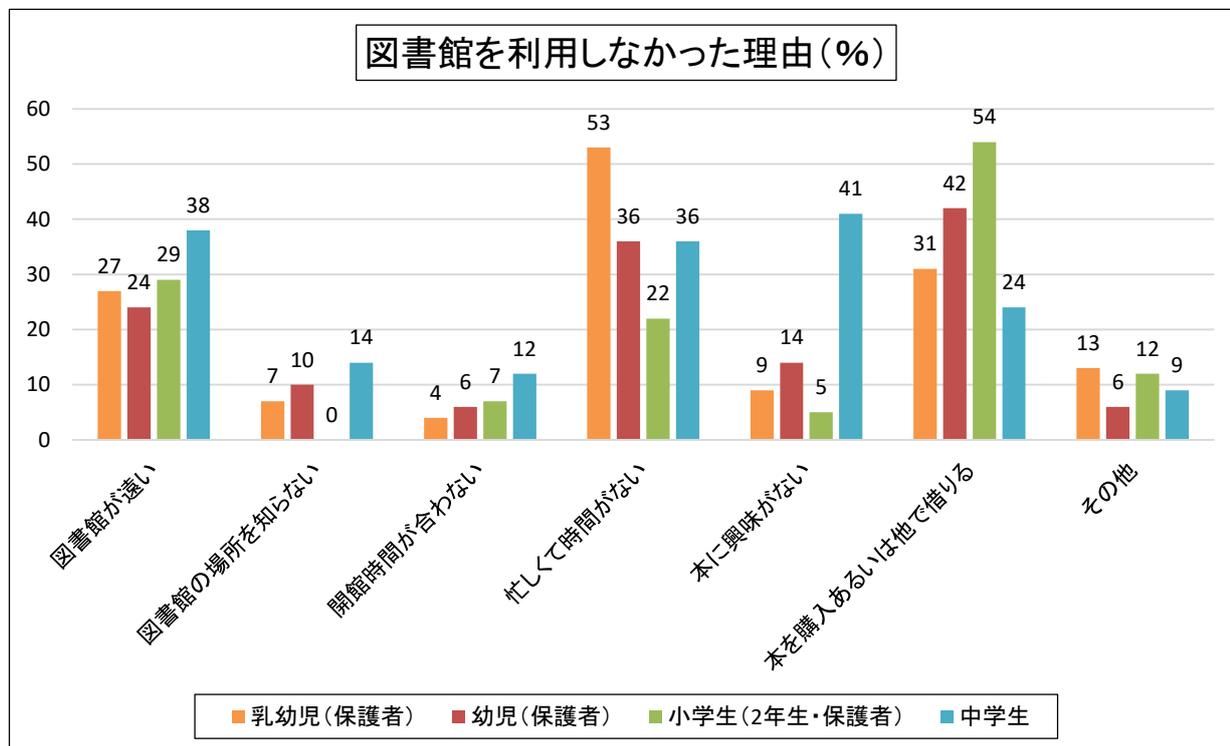
(問) どのような目的で坂出市立大橋記念図書館を利用していますか。(複数選択)



③ 坂出市立大橋記念図書館を全く利用しなかった理由

利用しなかった理由については、乳幼児(保護者)では「忙しくて時間がない」が53%で最も高くなった。幼児と小学生(2年生)の保護者は「本を購入あるいは他で借りる」と答えた割合が最も高くなった。中学生は「本に興味がない」が41%で最も高くなった。
 ※ 小学生(5年生)は回答フォーム設定ミスのためデータなし。

(問) 坂出市立大橋記念図書館を利用しなかったのはどうしてですか。(複数選択)



④ 図書館に対する要望

図書館に対する要望としては、小学生(2年生・保護者)以外では「本を選びやすくする」の割合が最も高く、乳幼児(保護者)で35%、幼児(保護者)で34%、中学生で44%となった。小学生(2年生・保護者)では「本の種類や量を増やす」が53%で最も多かったが、「本を選びやすくする」も37%で次いで多い結果となった。

※ 小学生(5年生)は調査対象外。

(問) 図書館がどうなればもっと利用してみたいと思いますか。(2つまで回答)

